▼ハイヤスタ錠　［内］

【重要度】　【一般製剤名】ツシジノスタット　Tucidinostat　【分類】抗悪性腫瘍剤［ヒストン脱アセチル化酵素（HDAC）阻害剤］
【単位】▼10mg/錠
【常用量】1回40mgを週2回［3または4日間隔］
■副作用により1回30mgまたは20mgに減量
【用法】食後
【透析患者への投与方法】設定されていない（1）
【保存期CKD患者への投与方法】腎機能低下により全身CLが低下する（1）
週2回の投与法では蓄積性は小さいと思われ，忍容性をみながら投与量を決定するのが合理的と思われる（5）
【特徴】HDAC活性阻害によりヒストン等の脱アセチル化が阻害され，細胞周期停止及びアポトーシス誘導が生じることにより腫瘍増殖を抑制する．再発又は難治性の成人T細胞白血病リンパ腫に適用．ベンズアミド系．
【主な副作用・毒性】血球減少，間質性肺疾患，感染症，不整脈，QT延長，消化器症状，倦怠感，味覚障害，皮膚症状，発熱，高血圧など
【安全性に関する情報】
【F】
【tmax】3～6hr（1）
【代謝】CYP3A4で代謝（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率25%［po，72hrまで］（1）P-gp，BCRP，MRP2の基質（1）
【CL/F】6.62～8.97L/hr（1）全身CLにはCCrが関連（1）
【t1/2】17～22hr（1）
【蛋白結合率】89%（1）
【Vd/F】206～231L/body（1）
【MW】390.42
【透析性】資料なし（1）除去されにくいと思われる（5）
【O/W係数】LogP=2.3（1）
【相互作用】CYP2C19，3Aを阻害（1）MATE2-Kを軽度阻害（1）
【肝障害患者への投与方法】
【小児CKD患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【更新日】20220824

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。